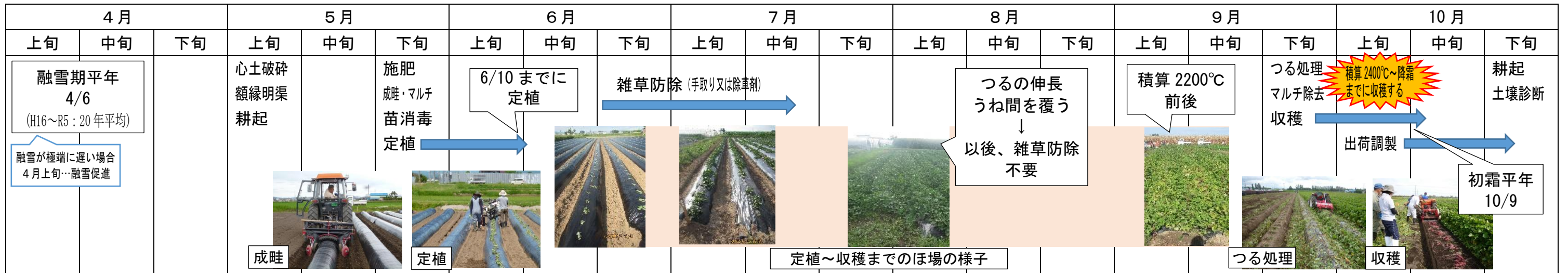


<JA あさひかわ版> さつまいも 栽培マニュアル



品種選定

○下表特性を踏まえ、出荷先及び作付面積を計画する。

品種名	育成元	用途			肉質	皮色	肉色	備考	早晚	定植後～収穫 期までの積算温 度の目安
		青果	加工 ペースト	干し芋						
シルクスイート®	カネコ種苗	○	○	○	中	濃赤紫	淡黄	収量性・形状優る、甘味強い	早生	2,200℃前後
ゆきこまち	農研機構	○	○		中	濃赤紫	淡黄	収量優る、形状良好で甘味強い	やや早生	2,200～2,400℃
べにはるか	農研機構	○	○	○	やや粘	濃赤紫	淡黄	形状優る、粘質で甘味強い	中生	2,400℃前後

ほ場準備

○石の多いところは可能な限り避ける。

○排水不良ほ場では心土破碎・額縁明渠の施工を行う。

○地力確保、土質改善のため有機物（1 t/10a 以上）施用に努める。

○前年秋～作付前に、土壌診断を実施する。

○施肥

施肥の一例（単位：kg/10a）					
銘柄	施用量	窒素	リン酸	カリ	
S839E	50	4.0	6.5	4.5	
けい酸加里	30	－	－	6.0	

・多肥は「つるぼけ」により、芋肥大が阻害される。

○酸度矯正

・低 pH ほ場では、石灰質資材で pH＝6.0 に矯正する。

○土壌処理（害虫防除）

- ・ハリガネムシ・コガネムシは土中で越冬し、細根・いもへの食害（穿孔）により、外観品質・保存性を著しく損ねる。
- ・特に牧草地や休耕地跡では越冬個体数が多い傾向である。薬剤の土壌混和により、防除を徹底する。

薬剤例	散布量	使用時期	使用方法	使用回数
フォース粒剤	9 kg/10a	植付前	全面土壌混和又は 作条土壌混和	1 回 限り



ハリガネムシの食害

○成畦・マルチ

・特に転作田では、停滞水による「芋の腐敗」や浅い硬盤層での「芋

の曲がり」を防ぐため、30～40cm の高うね栽培と基本とする。

・マルチは、地温確保と保温性の観点から、緑色又は黒色を推奨。

○うね幅・栽植本数（必要苗本数）の目安 ※下線：推奨値

通路幅 cm	うね幅 cm	うね高 cm	株間 cm	栽植本数 本/10a
60～70	60	30～40	<u>25</u> （～30）	（2,500～） <u>3,000</u>

○マルチの規格と特性

	厚さ	幅	低温時の 保温性	平均地温	マルチ内 の雑草	留意点	コスト
透明	0.020mm	1畦1条植 …135cm	劣	高	多	苗活着時のヤケ・低温障害	低
淡緑色			中程度	中程度	中程度	保温性・地温確保のバランスは 良いが、高コスト	高
濃緑色					やや少		
黒色			優	やや低	少	低温継続時の初期生育遅延	中程度

○生分解性マルチ

収穫時には場にそのまますき込む

ことで、マルチ除去の作業を省略で
きる。（約 2.5 時間／10a）

作業規模、土質に応じて
活用する。

定植

○苗消毒（定植前）

・つる割病・基腐病予防のため、下記薬剤で 30 分間苗浸漬を行う。

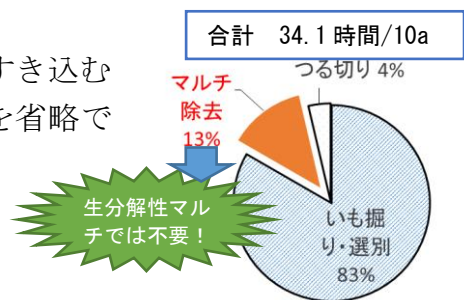
薬剤例	散布倍率	使用時期	使用方法	使用回数
ベンレート水和剤	500～1000 倍	植付前	30 分間苗浸漬	1 回 限り

○栽植密度、定植方法

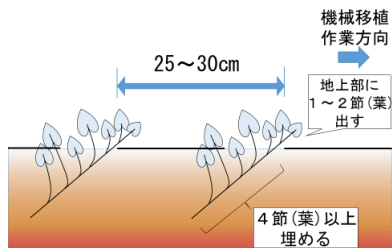
・栽植本数を確保するため、株間は
25～30cm が望ましい。

・定植方法は「斜め挿し」で総収量
と M～L 規格率を高める。

・植付後、マルチ穴を土でふさぎ、
乾燥を防止する。



収穫作業時間の目安



斜め挿しの方法

・高温干ばつ時の植付は、マルチ穴かん水により活着促進に努める。

・植付後、数日間は萎れた状態になるが、1 週間程度で活着し先端
の葉が上を向く。

雑草対策

○雑草が多いほ場では定植後の畦間散布を行う。さつまいもの茎葉
に薬液がかかると枯れるので、飛散薬害に注意する。

薬剤例	散布液量	使用時期	使用方法	使用回数
ラウンドアップ マックスロード	200～500ml/10a	収穫 60 日前まで （雑草生育期）	畦間処理	2 回 以内
バスタ液剤	200～500ml/10a	収穫 14 日前まで （雑草生育期）	耕起前・挿苗前 又は畦間処理	2 回 以内

収穫・出荷

○収穫予定日の決定

・右表より、定植翌日からの積算平均
気温が 2000℃前後となったら 1 週
間ごとに試し掘りを行い、200 g 以
上の芋の割合が半数を超えたら、収穫を開始する。

・収穫適期は「べにはるか」で 2400℃が目安である。降霜はいもの
保存性を損ねるため、早め（降霜前）に収穫する。

○つる処理（切り）、マルチ除去

・収穫前、降雨の少ない時期に実施する。

・降雨によりほ場が浸水・滞水した場合は、速やかに明渠につなぎ
排水し土壌を乾かす。

○機械収穫では、うねの底よりも深い位置で掘り取る。特に「べに
はるか」は深く下方に貫入する特性があり、いも切れに注意する。

○収穫直後は皮がむけやすいので、選別・運搬時は丁寧に扱う。

○出荷規格 【暫定：ホクレンの規格表（重量・曲がり別）】

重さ	長さ	太さ	その他
60～ 1200g	30cm 以内	直径3cm以上 （両端の4分の1 程度を除く）	2cm以上の断面・腐敗・虫害いずれない 土塊の付着がない 曲がりが軽微、皮むけが半分以下

○出荷は、指定の集出荷場へ持ち込む。

旭川アメダス平年値における
定植後積算平均気温の目安

定植日	5/25	6/1	6/5	6/10
2000℃	9/6	9/12	9/15	9/20
2200℃	9/17	9/24	9/29	10/5
2400℃	10/1	10/10	10/17	10/27